

The background image is a grayscale photograph of a school building with multiple stories and balconies. In the foreground, there is a large sports field, possibly a track or a field for sports. A group of students is visible on the field, some standing in a line and others sitting or kneeling. The overall scene suggests a school event or a gathering.

栗山町立小中学校 適正配置計画 と 今後のスケジュール について

—栗山町立小中学校適正配置計画説明会—

本日の説明内容

- 1. 学校教育の目指す姿**
- 2. これまでの経過**
- 3. 計画の概要**
- 4. 今後の進め方**

1 学校教育の 目指す姿について

町が実現したい学校教育の在り方

**過去に学び
現在を生き抜き
夢と志を持って歩む
栗山の子**

その実現のために

**「小中一貫した教育」
を基盤にした取り組み
が必要**

目指す姿



写真：東京都品川区立豊葉の杜学園（幼保小中一貫）での授業の様子



**子どもの夢や笑顔について
語り合うこと**
を大切にしながら取り組むことを
最優先に・・・

2

これまでの経過

- 令和5年10月
令和5年度秋まちづくり懇談会
- 令和6年1月～
子どもたちのための学校教育の在り方について語り合う会（7会場・77名参加）
- 令和6年3月
栗山町立小中学校適正配置基本方針の決定
- 令和6年5月～
栗山町立小中学校適正配置計画検討委員会を設置（4回開催）
- 令和6年10月
栗山町立小中学校適正配置計画に関する提言書を受理
- 令和6年10月
町総合教育会議で計画案を協議
- 令和6年11月
議会一般会議で計画案を協議
- 令和6年11月
教育委員会会議で計画を決定



計画をまとめるまでに・・・

- 児童生徒数の減少や校舎の老朽化などのネガティブな問題点を切り口とするのではなく、**一貫して、子ども達のために学校教育環境がどうあるべきかという観点**で、様々な意見や要望いただいてきました。
- 検討委員のみなさんには、**町民のみなさんからの様々な意見を共有**いただき、**地域、PTA、教育の観点から総合的に検討**して、あるべき適正配置についてまとめていただきました。

3 計画の概要

配布した「計画の要点」と
併せてご覧ください

○適正配置計画の目的

栗山町立小中学校適正配置計画とは

小中学校適正計画は、

①学校教育に関わる関連施策の推進

（特色ある学校づくり）

②学校規模の適正化

（学校の小規模化への対応措置）

について、**中長期的な見通しを立てることを目的**としたものです。

栗山町立小中学校適正配置計画とは

- 検討委員の皆様から頂いた意見やパブリックコメント、各種データに基づき、**子どもたちの健全な成長を図ることを優先的**に考えて、充実した学校環境の整備を進める計画としています。

栗山町立小中学校適正配置計画とは

- ・ **学校数の見直しに伴い懸念されること**
（例えば、校舎を建て替えた場合の財政負担や、閉校にともなう地域への影響など）
への対応についても、適正配置の進行に併せて適切な対応・措置に努めることを明記しています。

①関連施策の推進

～特色ある学校づくり～

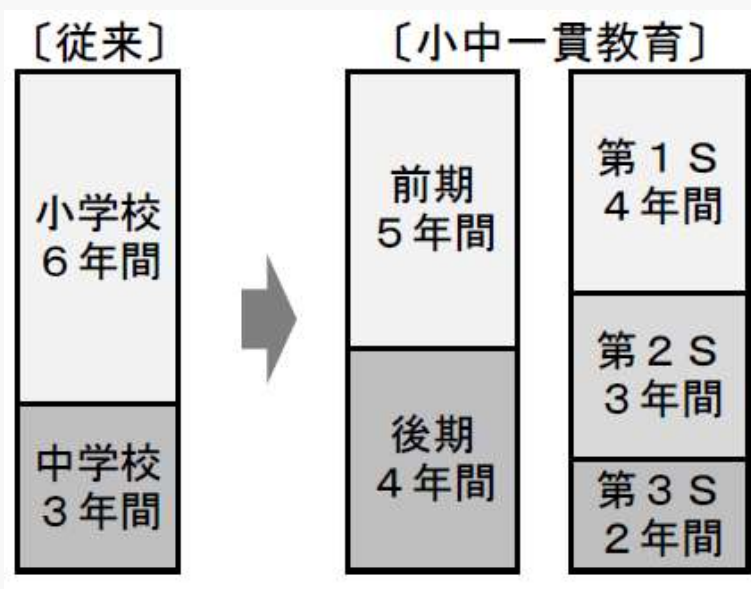
1. 小中一貫教育の推進

方向性

- **学校適正配置(統合)に並行して、さらなる推進を図る**
- **今後の児童生徒数の動向や円滑な運用を鑑みて、導入については基本的に「義務教育学校」の類型・形態を目指す方向で執り進める**

参考：小中一貫教育とは・・・

義務教育 9 年間でどのように児童生徒を成長させるのか
具体的なビジョンをもって、系統的な教育課程を編成するもの

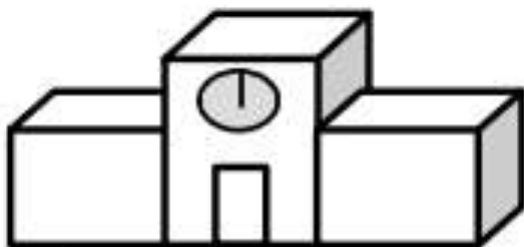


市町村等の判断で 9 年間を見通した教育課程の編成（学年の区切り）を、現行学制の 6・3 年制から 5・4 年制や 4・3・2 年制などに変更が可能に

参考：小中一貫教育の主な形態

①義務教育学校

A A 学園



 校長(1人)

- 新たな学校種（1つの学校）
- 一人の校長、一つの教職員組織
- 修業年限：9年
（前期課程6年＋後期課程3年）

【道内の例】

- 歌志内学園（歌志内市）
 - とうべつ学園（当別町）
 - 早来学園（安平町） 他
- 全24校（20市町村）
※長沼町・砂川市で準備中

参考：小中一貫教育の主な形態

②小中一貫型小学校・中学校（併設型小学校・中学校）

B B 中学校



- 組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
- それぞれの学校に校長、教職員組織

C C 小学校



【道内の例】

- 由仁小・中学校（由仁町）
- 長沼小・中学校（長沼町）
- 栗沢小・中学校（岩見沢市）
- 沼田小・中学校（沼田町）

2. ふるさとキャリアプログラムの推進

方向性

地域資源を活かした 「地域と歩む持続可能な教育」を推進

- 本町には多くの地域資源が存在しており、子どもが「ふるさとに学ぶ」ための人材や素材に溢れています。
- 令和5年度に開催した「子どもたちのための学校教育の在り方を語り合う会」において、住民のみなさんから本町の地域資源を活かして子供たちが成長できる機会を作ってあげたいという思いが多く寄せられました。

参考：栗山町ならではの取り組み



ハサンベツ里山での自然環境学習



栗山産サツマイモを使った調理実習



稲刈り体験



栗山産だけを使った給食



介護福祉学校との土曜授業



職場体験学習

②学校規模の適正化

1. 適正な学校規模の確保

単位：級・人

小学校	平成8年度		平成25年度	令和6年度	令和9年度	令和12年度
	級数	児童生徒数	級数	級数	級数	級数
栗山小	18	569	15	12	11	9
角田小	6	111	5	5	4	5
継立小	6	117	6	4	3	3
杵臼小	3	24	-	-	-	-
雨煙別小	2	34	-	-	-	-
合 計	35	855	26	21	18	17

中学校	平成8年度		平成25年度	令和6年度	令和9年度	令和12年度
	級数	児童生徒数	級数	級数	級数	級数
栗山中	12	452	9	7	7	6
継立中	3	71	3	-	-	-
合 計	15	523	12	7	7	6

6年後には、196人減（約30%減）

1. 適正な学校規模の確保

継立小学校

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	1	4	1	2	1	1	1	3	1	2	1	5
2年		2		4		2		1		3		2
3年	1	6	1	2	1	4	1	2	1	1	1	3
4年		7		6		2		4		2		1
5年	1	11	1	7	1	6	1	2	1	4	1	2
6年	1	9	1	11		7		6		2		4
合計	4	39	4	32	3	22	3	18	3	14	3	17

児童生徒数の減少に伴う主な課題

- 令和9年度
 - 新入生が1名（全校22名）。
 - 全学年が複式学級。

1. 適正な学校規模の確保

角田小学校

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	1	6	1	9	1	9	1	8	1	5	1	4
2年	1	7	1	6	1	9	1	9	1	8	1	5
3年		8	1	7	1	6	1	9	1	9		8
4年	1	6		8		7		6	1	9	1	9
5年		7	1	6	1	8	1	7	1	6	1	9
6年	1	11		7		6		8		7		6
合計	4	45	4	43	4	45	4	47	5	44	4	41

児童生徒数の減少に伴う主な課題

- 令和8年度以降は、全ての学年で一桁の児童数
- 常時に複式学級が発生

1. 適正な学校規模の確保

栗山小学校

単位：級・人

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数	級数	児童数
1年	2	43	2	50	2	43	1	32	1	31	1	36
2年	2	43	2	43	2	50	2	43	1	32	1	31
3年	2	53	2	43	2	43	2	50	2	43	1	32
4年	2	44	2	53	2	43	2	43	2	50	2	43
5年	2	59	2	44	2	53	2	43	2	43	2	50
6年	2	52	2	59	2	44	2	53	2	43	2	43
合計	12	294	12	292	12	276	11	264	10	242	9	235

児童生徒数の減少に伴う主な課題

- 令和10年度に1クラスの学年が発生

1. 適正な学校規模の確保

児童生徒数の減少に伴う主な課題

- 令和9年度
 - 継立小学校の新入生が1名（全校22名）。
 - 継立小学校では全学年、角田小学校では1・2年生を除く学年が複式学級。
- 令和10年度
 - 栗山小学校でも1学級の学年が発生
- **学校の適正規模は統合により確保する
→小学校3校を1校に集約**
- **学校の適正配置は、関連施策の推進も
鑑みて整備する**

2. 学校校舎の利用

老朽化が進む小学校校舎・体育館と中学校体育館の在り方は、
セットで検討

(小学校は新校舎の建築又は栗小校舎の改修、中学校の体育館は新築を基本)



栗山小学校の校舎・体育館は築40年以上、
栗山中学校の体育館は築50年以上を経過

参考：新しい時代の学校施設イメージ

※出典：文部科学省HP

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

参考：新しい時代の学校施設イメージ

※出典：文部科学省HP

生活



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

参考：新しい時代の学校施設イメージ

※出典：文部科学省HP

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

参考：新しい時代の学校施設イメージ

※出典：文部科学省HP



屋上に20kWの太陽光発電パネルを設置



オープンスペースに設置されたペレットストーブ



照明のLED化（多目的教室）



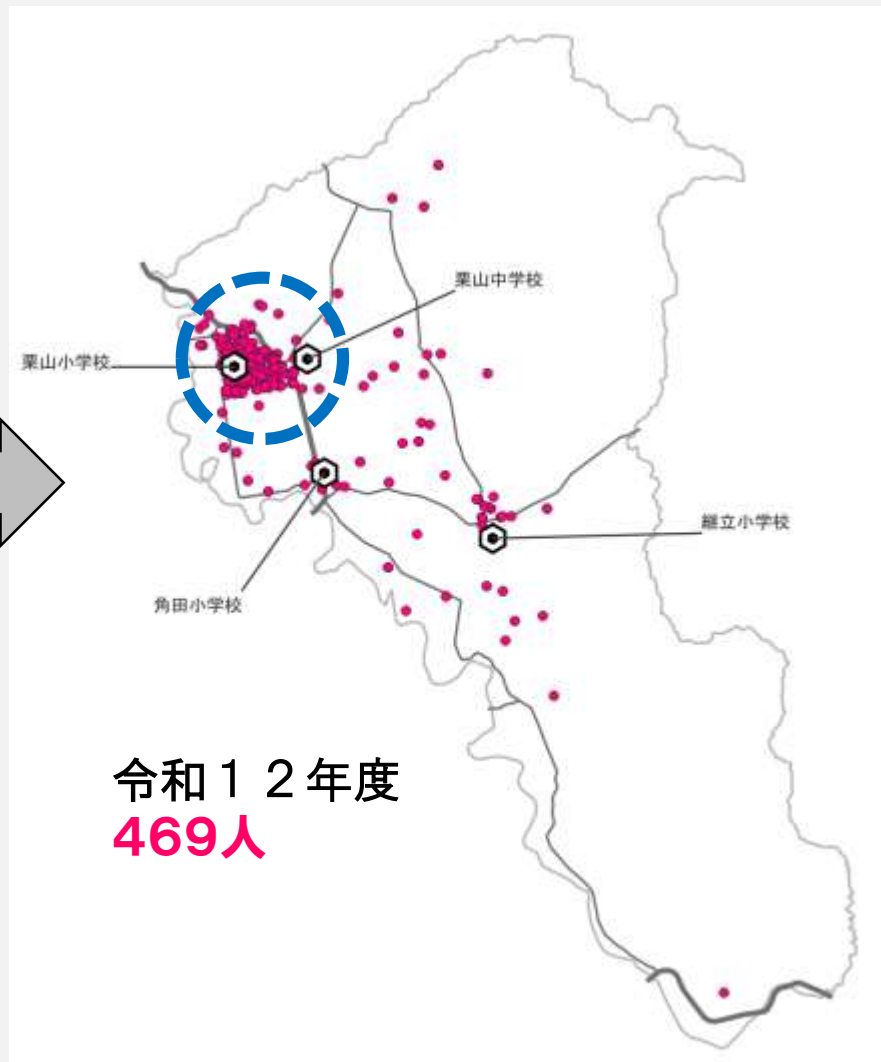
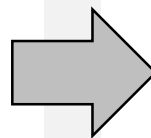
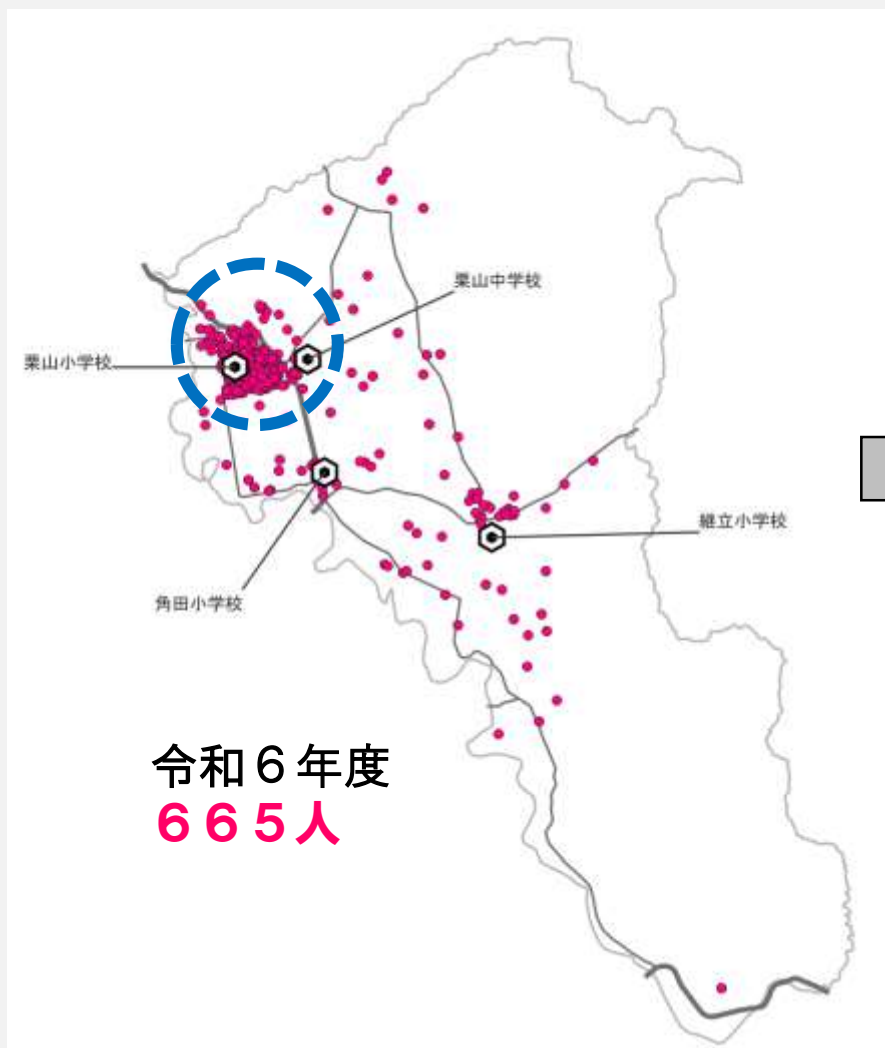
雪を氷室に貯蔵し、夏の冷房に利用



吉野スギ、吉野ヒノキにより内装木質化された床・壁・天井

3. 学校を配置する位置

小学校と中学校は近接地に配置



4. 通学手段の確保

方向性

学校の統合に伴い、遠距離通学など影響を受ける児童・生徒を対象に
スクールバスを運行

【計画の内容】

基本とするスクールバスの対象者

①通学時間：概ね1時間を超える場合

②通学距離：小学校 3kmを超える場合

中学校 5kmを超える場合

又は

統廃合前の小学校区、中学校区に居住する児童・生徒



運行に関する対象者の設定等の詳細事項は、
栗山町スクールバス運行計画等検討委員会において協議

③計画のスケジュール

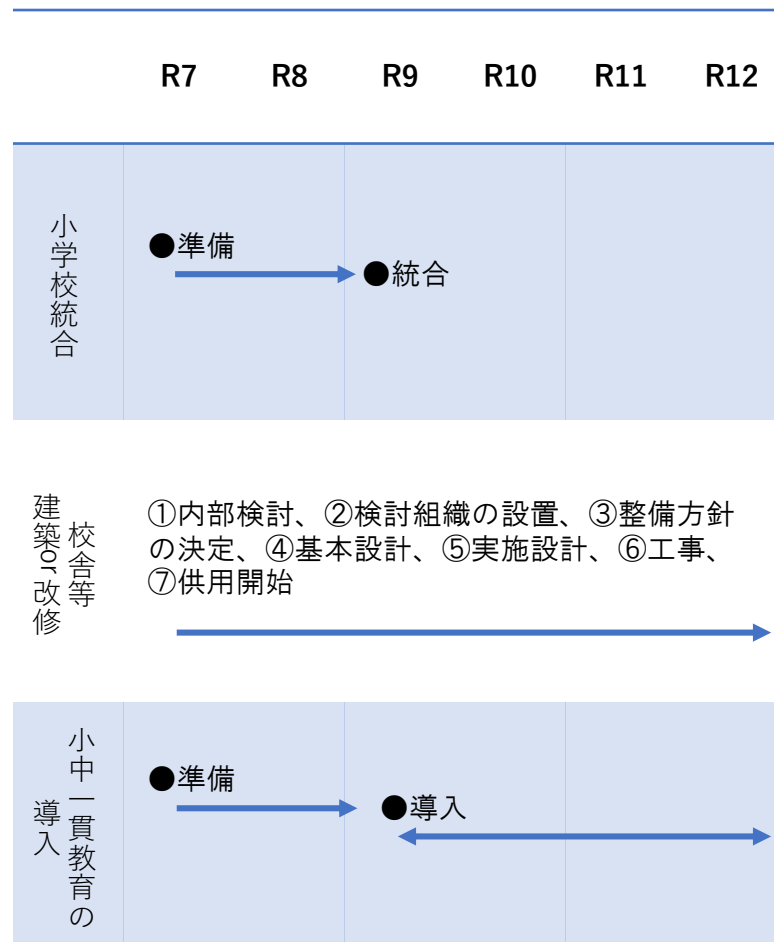
○基本的な考え方

- 計画期間は、**栗山町第7次総合計画と同様の期間（～R12）を基本**とする
- 計画の推進はより良い教育環境を早く提供するために、可能な限り早期実現に努める
- 具体的かつ明確なスケジュールに関しては、効率性や実効性等を鑑みて、関係機関・部署等との協議をもって精査し定める
- 協議・諸条件等が整った場合は、実施時期を早期にすることも検討

1. 小学校の統合

令和8年度までの完了を目指す

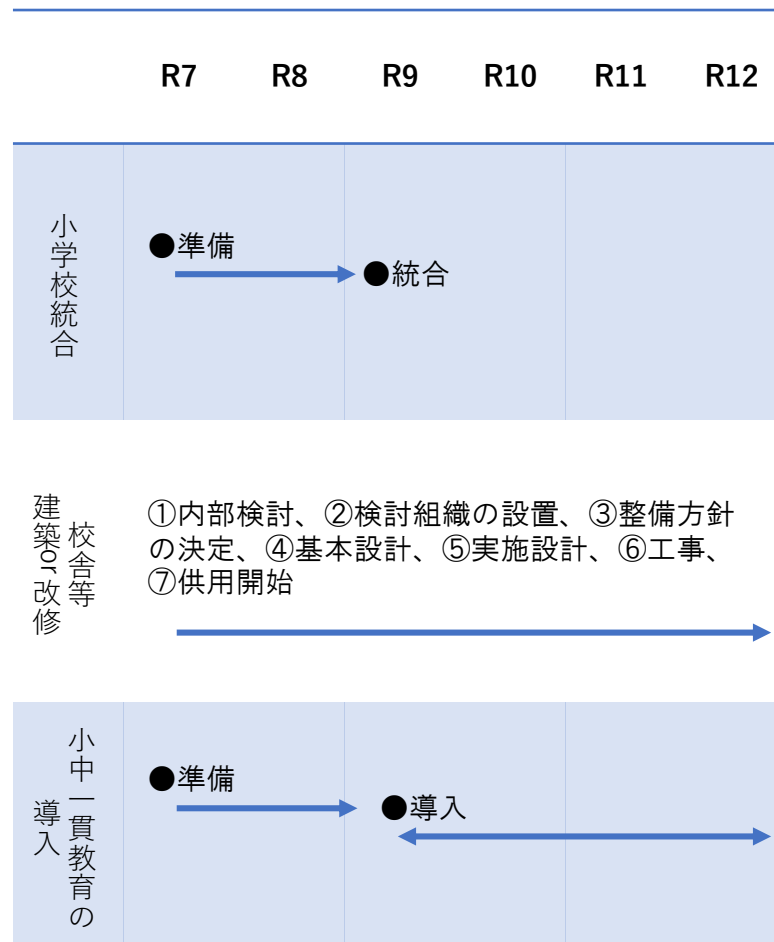
- 統合に関わる調整及び諸準備等に係る期間は2年程度を要するものと考えます。
- 校舎等の建設又は改修については、①内部検討、②検討組織の設置、③整備方針の決定、④基本設計、⑤実施設計、⑥工事、⑦供用開始の手順を要しますが、統合後の令和9年度以降、早期の実現を目指し検討を進めます。



2. 小中一貫教育の導入

令和9年度以降の導入を目指す

- 小学校の統合時期に合わせて導入することを基本とするが、適正配置によらず先行実施が可能な場合は適宜導入する



4

今後の進め方

○計画の実現に向けて・・・

- ・ 統廃合等に係る具体的な内容については、4月以降に学校再編の準備委員会を立ち上げ、そこで協議・検討を進めます。
- ・ 行政と保護者、地域、学校が意思疎通を図りながら円滑に進めることが望ましいと考えられることから、本計画の内容を含め、学校区ごとに説明会を行うなど、情報の発信・共有に努めます。

○計画の実現に向けて・・・

- ・ 小学校の統廃合に伴う地域への影響については、地域や保護者はもとより、まちづくりへ与える影響も考慮しながら、効果や効率性、さらには合理的な手法を十分鑑みて執り進め、角田小学校のある中部地域や、継立小学校のある南部地域への配慮に努めます。